

国連認定
協議資格

「総合」へ昇格内定



記者会見で国連の協議資格の昇格内定を発表する菅波AMD A代表（中央）

AMD A 政策提言可能に

国際医療ボランティアAMD A（本部・岡山市）は二十三日、岡山市内で記者会見を開き、国連認定の協議資格が従来の「特殊」から、最も強い権限が与えられる「総合」へ昇格することが内定したと発表した。五月の国連経済社会理事会で正式承認される見込み。

「総合」の資格が与えられると、国連NGO（非政府組織）が参加可能な同理事会の各種委員会などで政策提言ができる。国内では発展途上国の農業、植林などを支援してきたオイスカ（東京）などに次いで四番目。医療

系NGO、地方に本部を置くNGOとしても初めてという。

米ニューヨークで二十日に開かれた同理事会のNGO委員会（十九カ国で構成）で、AMD Aは緊急救援医療だけでなく教育や紛争予防、社会開発など活動が多岐にわたる▽国連と連携した事業の実績などが評価さ

れ、全会一致で内定した。AMD Aは一九九五年六月に「特殊」を取得。昨秋、「総合」の申請書類を提出していた。

菅波代表は「承認されれば、総合資格を有している海外のNGOと和平などに向けて共同声明や行動を起こし、緊急救援に関する政策提言もしたい」と話している。（長安亜矢子）